

【復興交付金事業計画の総合的な実績に関する評価様式】

計画名称	矢板市復興交付金事業計画																												
計画策定主体	矢板市																												
計画期間	平成23年度 ～ 平成27年度																												
計画に係る事業数	2事業																												
計画に係る事業費の総額	862,743千円（国費：653,343千円）																												
東日本大震災による被害の状況に対応した復興まちづくりの現況	東日本大震災により、本市ではかつて経験したことのない震度5強を記録し、家屋や道路の損壊だけでなく、電気や水道等ライフラインも損傷し、甚大な被害に見舞われた。																												
計画区域における被災状況	<p>土地被害</p> <p>滑動崩落：3箇所</p> <p>擁壁被害：多数</p> <p>開口亀裂：多数</p> <p>家屋被害</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(成田)</th> <th>(中-1)</th> <th>(中-2)</th> <th>(合計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全壊</td> <td>15棟</td> <td>11棟</td> <td>3棟</td> <td>29棟</td> </tr> <tr> <td>全半壊</td> <td>10棟</td> <td>1棟</td> <td>0棟</td> <td>11棟</td> </tr> <tr> <td>半壊</td> <td>21棟</td> <td>9棟</td> <td>5棟</td> <td>35棟</td> </tr> <tr> <td>一部損壊</td> <td>60棟</td> <td>38棟</td> <td>19棟</td> <td>117棟</td> </tr> </tbody> </table> <p>※成田：ハッピーハイランド住宅団地 ※中-1：ロビンシティ住宅団地 ※中-2：日拓住宅団地</p> <p>公衆用道路等の被害：多数</p> <p>上水道給水管の被害：多数</p> <p>汚水処理施設の被害：開口亀裂 擁壁破損 排水管破損</p> <p>自治集会施設の被害：開口亀裂 擁壁破損 家屋変状（全壊レベル）</p>					(成田)	(中-1)	(中-2)	(合計)	全壊	15棟	11棟	3棟	29棟	全半壊	10棟	1棟	0棟	11棟	半壊	21棟	9棟	5棟	35棟	一部損壊	60棟	38棟	19棟	117棟
	(成田)	(中-1)	(中-2)	(合計)																									
全壊	15棟	11棟	3棟	29棟																									
全半壊	10棟	1棟	0棟	11棟																									
半壊	21棟	9棟	5棟	35棟																									
一部損壊	60棟	38棟	19棟	117棟																									
復興交付金事業計画における主要な事業結果の概要	<p>○造成宅地滑動崩落緊急対策事業</p> <p>東日本大震災により地盤の滑動崩落で被災した造成宅地において、再度の災害を防止するために、滑動崩落防止の対策工事を実施した。</p> <p>平成24年度 地質調査、測量、設計</p> <p>平成24年度～平成26年度 滑動崩落対策工事</p> <p>平成26年度～平成27年度 法面保護工事</p> <p>○公共施設整備事業（市道整備等）</p> <p>東日本大震災により被災した造成宅地内の道路及び構造物の復旧工事を実施した。</p> <p>ロビンシティ住宅団地において、車両等が通行できる道路が1路線のみであり、緊急時に孤立するおそれがあるため、緊急車両等の通行や良好な居住環境の形成の役目も果たす道路整備を実施した。</p> <p>平成25年度 測量、設計</p> <p>平成26年度～平成27年度 舗装修繕工事、道路新設工事</p>																												

復興交付金事業計画の実績に関する総合評価

○復興まちづくりにおける復興交付金事業の有用性、経済性

200世帯を超える居住者の生活の質・安全性を向上させ、生活不安の解消や安心な暮らしを確保できたことは、非常に有用性が高いと考える。

また、競争入札を実施する等適正な価格であり、経済性も高いと考える。

○復興交付金事業計画の実施に当たり、県又は市町村において改善が可能であった点特になし

○総合評価

当復興交付金事業計画に伴い実施した事業により造成宅地の滑動崩落箇所の復旧、道路及び構造物の復旧、また新設道路の整備等によって、居住者の生活の質・安全性が確保できた。

このことから交付金事業は、十分に有効かつ効率的に実施され、本市の復旧復興を迅速に推進できたものと評価できる。

評価の透明性、客観性、公正性を確保するための取組

事業を都市建設課で実施し、評価を総合政策課で行ない、事業部署と評価部署を分けて総合的評価・個別評価を行なった。

事業部局 都市建設課 電話番号：0287-43-6212

評価部局 総合政策課 電話番号：0287-43-1111

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-14-1
事業名	造成宅地滑動崩落緊急対策事業
事業費	総額 677,021 千円（国費：507,766 千円） 内訳：調査設計費 86,719 千円、工事費 590,302 千円
事業期間	平成23年度～平成27年度
事業目的・事業地区	東日本大震災により地盤の滑動崩落で被災した造成宅地において、再度の災害（道路の損傷・家屋の倒壊等）を防止する。
事業結果	<p>委託業務（地質調査、測量、設計） 86,719 千円</p> <p>造成宅地滑動崩落緊急対策工事 521,399 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーハイランド住宅団地 : L=195.5m 163,517 千円 <ul style="list-style-type: none"> 現場打抑止杭工（φ267.4mm、15.0～16.0m） : N=50 本 現場打抑止杭工（φ500.0mm、16.5～17.0m） : N=37 本 現場打抑止杭工（φ500.0mm、15.5～17.0m） : N=39 本 ・ロビンシティー住宅団地 : L=412.4m 246,908 千円 <ul style="list-style-type: none"> 現場打抑止杭工（φ318.5mm、16.5～19.0m） : N=44 本 現場打抑止杭工（φ508.0mm、18.5～28.0m） : N=54 本 現場打抑止杭工（φ318.5mm、12.5～15.0m） : N=90 本 ・日拓住宅団地 : L=230.0m 110,974 千円 <ul style="list-style-type: none"> 現場打抑止杭工（φ318.5mm、13.0～15.0m） : N=63 本 現場打抑止杭工（φ267.4mm、10.0～12.0m） : N=54 本 <p>造成宅地滑動崩落緊急対策法面保護工事 68,904 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーハイランド住宅団地 : L=312.7m 42,401 千円 <ul style="list-style-type: none"> ブロック積工 （大型ブロック積） : A=589 m² 排水構造物工 : N=一式 ・ロビンシティー住宅団地 : L=326.0m 26,503 千円 <ul style="list-style-type: none"> かご枠工（大型カゴ枠） : A=129 m² （カゴ枠） : A=21 m² 擁壁工（プレキャストL型） : L=10.0m
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>造成地の安全確保のため、地震時安全率 1.0 を満足することを目的として現場打抑止杭工を行ない、造成宅地防災区域の指定を解除することができた。</p> <p>崩落した法面沿いの道路の安全な通行が確保できた。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>経済性を考慮して、工法・材料等を検討しており、適正と考える。</p>

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
調査	平成24年4月～平成24年8月	平成24年4月～平成24年7月
設計	平成25年1月～平成25年3月	平成24年7月～平成24年12月
工事	平成25年4月～平成26年3月	平成25年3月～平成27年7月

境界確認及び用地取得に不測の時間を要したり、工事に時間を要したため、繰越や発注時期の変更を行なった。それにより適切な工期を設定することができ、滞りなく工事を完了したため、適正と考える。

事業部局 都市建設課 電話番号：0287-43-6212
評価部局 総合政策課 電話番号：0287-43-1111

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆D-14-1-1													
事業名	公共施設整備事業（市道整備等）													
事業費	総額 185,721 千円（国費：148,577 千円） 内訳：調査設計費 18,365 千円、工事費 167,357 千円													
事業期間	平成23年度～平成27年度													
事業目的・事業地区	<p>東日本大震災により被災した造成宅地内の道路や構造物の復旧工事を実施する。 ロビンシティー住宅団地において、車両等が通行できる道路が1路線のみであり、緊急時に孤立するおそれがあるため、道路整備を実施する。</p>													
事業結果	<p>委託業務（測量、設計） 18,365 千円 道路新設 L=200.0m 舗装復旧工：A=17,690 m²・排水構造物工：N=一式 167,357 千円</p>													
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 造成宅地内の道路・構造物の復旧工事、造成宅地内の道路・構造物の復旧工事、緊急車両等の通行や良好な居住環境の形成の役目も果たす新設道路の整備により、居住者の生活の質・安全性を向上させ、生活不安の解消や安心な暮らしを確保できた。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 経済性を考慮して、工法・材料等を検討しており、適正と考える。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査</td> <td>平成24年4月～平成24年8月</td> <td>平成25年9月～平成26年3月</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>平成25年1月～平成25年3月</td> <td>平成25年9月～平成26年3月</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>平成25年4月～平成26年3月</td> <td>平成26年7月～平成28年2月</td> </tr> </tbody> </table> <p>境界確認及び用地取得に不測の時間を要したり、工事に時間を要したため、繰越や発注時期の変更を行なった。それにより適切な工期を設定することができ、滞りなく工事を完了したため、適正と考える。</p>			想定事業期間	実際の事業期間	調査	平成24年4月～平成24年8月	平成25年9月～平成26年3月	設計	平成25年1月～平成25年3月	平成25年9月～平成26年3月	工事	平成25年4月～平成26年3月	平成26年7月～平成28年2月
	想定事業期間	実際の事業期間												
調査	平成24年4月～平成24年8月	平成25年9月～平成26年3月												
設計	平成25年1月～平成25年3月	平成25年9月～平成26年3月												
工事	平成25年4月～平成26年3月	平成26年7月～平成28年2月												
事業部局	都市建設課	電話番号：0287-43-6212												
評価部局	総合政策課	電話番号：0287-43-1111												